

のほりべつ

- 新学期をひかえて—豊かな心と丈夫な体… 2 P
- 転出・転入の届けをお忘れなく…………… 3 P
- 登別市総合基本構想 素案まとまる（主要施策の基本方針など）…………… 4・5 P
- 郷土史探訪「色の濃い川」ヌブリベツⅡ… 6 P
- 学校めぐり 札内小中学校…………… 7 P

○No. 297 ○昭和55年3月1日発行 ○編集発行/北海道登別市/総務部公聴広報課 ○印刷/中西印刷



思い出を残して

今年市内では約千人の小学生が卒業します。

緊張した入学式、友達とけんかして泣いたあのととき、初めて両親を離れた修学旅行。楽しかった思い出、つらかった思い出がいっぱいです。

鷺別小学校の卒業生たちは、この思い出を学校に、自分の心に残そうと現在の鷺別地区の姿を壁画に描いています。

図工の時間に写生した、鷺別小学校を中心とした街並みをタテ一・五尉、ヨコ二尉のペニヤ板二枚に学級代表の八人を中心に描いています。

この中には、開校九十周年にあたり、グラウンドに九十の人文字、左上には、児童会の名称「ヒナワシ会」にちなみ、はばたく鷺の姿を入れ、未来に向かってはばたく児童を象徴しています。

できあがった壁画は体育館の壁に飾ることにしており、十年後、二十年後には、街並みがどう変わっていくか、児童の夢は限りなく広がっていきます。

来年もまた、多くの思い出が残されるように。

3 1980 . 1

新学期をひかえて——

豊かな心と丈夫な体



昨年の新入学児童のスナップ（提供＝梶別小学校）

新学期が近づきました。新しく入園、入学するお子さんをお持ちのご家庭では、喜びに満ちた期待感でいっぱいのことと思います。豊かな心と丈夫な体をもった子供に育ててほしいというのが、私たち親の切なる願いです。

そこで、入園、入学前にチェックしておきたい「しつけ」として過保護と過干渉にスポットを当ててみました。

また、新学期をひかえて、子供たちに運動への興味を持たせることも大事です。

最近では中高年の体力づくりブームが高まっていますので、親子でできる体力づくりの方法も合わせてご紹介します。

子供の自主性を大切に

＝過保護と過干渉の戒め＝

自己中心に なりがち

＝過保護のしつけ＝

過保護のしつけは、子供の性格形成にどういった影響を与えるかといえます。

まず「子供のいいなり」になっていると、子供は、自己中心的で自分勝手な行動をとることが多くなり、学校などの集団生活に必要な協調性を欠くようになりがちです。

また「世話のやきすぎ」は、子供が自分で考え、行動する自主的な生活経験のチャンスを少なくさせることになりがちです。

この結果、社会生活にスムーズに適応できなかつたり、自分では責任をもとうとしない依頼心の強

い性格になりがちです。

しつけは、子供自身、自らの意欲にかられて行動するようにしむけてこそ、自主性が育ちます。まず、子供の身になって考えることが大切です。

一面性をもった 性格も

＝過干渉のしつけ＝

しつけを「習慣づけ」と考えると、ある面では、半ば強制的にならざるをえないことがあるのも確かです。ことに幼児期には、厳格なしつけ・干渉は、子供の人間形成にとって極めて重要な意味をもっています。

ただ、問題はその度合いです。厳しすぎる強制過干渉は、過保護と同じように、子供の性格形成に

親子でつくる健康な体

■山登りゲーム

お父さんが山になって、子供が登山するというゲーム。父親が立って両手をつなぎ、子供がお父さんのヒザからおなか、胸



へと登っていきます。肩まで登りつめたら登頂成功というわけです。子供の手や足腰がきたえられ、お父さんも腹筋の鍛錬ができます。

いい影響を与えない場合が多いようです。

過干渉の場合、親の理想とする子供像に近づけるため、「こうしなさい」「やめなさい」「いけません」といったような命令・禁止・拒否のことがばや態度が、しつけの中心になりがちです。

子供は、親のいう通りにしないとしかられ、時には体罰も加えられるということになると、親の前では、服従的で、素直な「よい

■ふねこぎ

親は足を伸ばしてすわり、その上に子供も足を伸ばし、向かい合ってすわります。そしてお互いに腕を伸ばし両手を握り、そのままの姿勢でどちらかがオールをこぐように体を後ろにそらせ、交互に繰り返します。ちようど舟のオールをこいでいるようになつこうになります。



■飛行機

親が仰向けに寝て両足をあげ、足の上に子供のおなかを当てるように静かにあげます。初めは親子が手をつなぎ合っている状態が、だんだん上手になったら手を放して、子供に体のバランスをとらせませす。親が足を屈伸しながら高く低くを繰り返しますと、バランス感覚の養成に一段と効果があります。

■手押し車

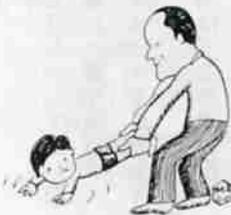
子供に輪立て伏せの姿勢をとらせませす。そして親が、その子供の両足を持ち上げて「ヨインヨ」「ヨインヨ」と進ませると、ヒジから上の腕をきたえられるほか、関節をやわらかにする効果があります。



子供「になろうとします。自我をおさえ、主張をかくし、悪くすると二面性をもった性格にならないとも限りません。

親の強制に合わせるだけなら本当の意味での「過慮」にならないばかりか、「習慣づけ」に大切な自主性も育ちませす。

親が子供をしかったり、世話をやいたりする場合、あくまでも子供の自主的な行動を促す程度にとどめるほうが、しつけのコツといえるでしょう。



転出・転入の

届けをお忘れなく

三月、四月は、一年のうちで特に引越しの多い時期といえます。

親元に住んでいた人が大学に入學したり、就職したりして親元を離れ、下宿や寮に住む場合、あるいは転勤などで住所を移す時は、いままで住んでいた市町村に必ず転出届を提出してください。

また、それと同時に、転入した日から十四日以内に、新しい住所のある市町村に転入届を添えて転入届を忘れずに出してください。

市内で住所を移した時は転居届を、世帯主が変わった場合は世帯主変更届を、お忘れなく。

市町村には、住民基本台帳という住民のみさんの住所などを記載した公簿が備えてあります。

市町村では、この住民基本台帳に基づいて、選挙人名簿を作成したり、印鑑の登録を受け付けたりあるいは国民年金や児童手当の支給や小・中学校入学名簿の作成など私達の暮らしに密着した事務を

行なっています。この大切な住民基本台帳が正確であるためには、ぜひとも正しい届け出が必要なのです。



住民異動届

●転居届 転出先の住所を確認して、原則として本人か世帯主が印鑑をご持参のうえ、市役所市民課各支所で手続きを。転出証明書を発行します。

●転入届 新しい住所を定めてから十四日以内に転出証明書と印鑑を持って、市役所市民課各支所へ。

●支所へ。印鑑登録 市内で異動する場合は住民票とともに移ります。市外から転入された方は、印鑑と本人であることを確認できる書類をお持ちになって、市役所市民課各支所へお越しください。

転校の手続き

前の学校で発行した学習証明書と転入先の住民票を教育委員会学校教育課へお持ちください。

固定資産税など

●固定資産税 住所が変わったら、資産の所在する市町村の資産税係に連絡を。

●軽自動車税 住所が変わったら、前住所地の市民税係に連絡を。

国民年金

国民健康保険

●国民年金 被保険者が異動するときは、国民年金手帳、前住所地の保険料領収書、印鑑を持って転入先の年金係へ。

●国民健康保険 福祉年金の受給者も、年金証書と届け出の印鑑を持って転入先で手続きを。

引越しメモ

引越しの事務手続きは早目にすませましょう。

転出の届けをする際には、印鑑が必要ですから、用意してください。

電気、ガス、水道などは五日前に連絡して、引越当日、検針と集金に來てもらう時間を打ち合わせしておきましょう。(水道・水)

●国民健康保険 転出・被保険者証を市役所国保係へお返しいただきます。

●転入・社会保険などの健康保険未加入者、生活保険などを受けていない方は、住所を定めてから十四日以内に、加入手続きが必要です。

●市内異動・市役所国保係へ住居の変更手続きを。
※いずれも印鑑をお忘れなく。

各種手当や

医療費助成

●手当など 児童手当、児童扶養手当、災害遺児手当、福祉手当の支給を受けている方、あるいは母子寡婦福祉資金や世帯更生資金を借りられている方、心身障害者扶養共済制度に加入している方が異動する時は、前住所地の福祉事務所で手続きを。印鑑などが必要です。

●老人・乳幼児医療費の助成 老人医療費や乳幼児医療費の助成を受けている方が転居する場合は、受給者証をお返しいただくことになっています。

●ただし市内での転居は、市役所保護課で住居の変更手続きを印鑑と受給者証をお持ちください。

●道部料金係へご連絡を。電話5局2111(内線333)

●郵便局には転居通知を出してください。電話の移転手続きも忘れずにします。

●くみ取りの手続きは、衛生センター(電話5局29958)へ。新聞、牛乳などの支払いも早めに連絡しておきたいものです。

奨学生を募集



登別育英会

財団法人登別育英会では、高校、高等専門学校、大学に在学中の方で人物、学業ともに優秀であって経済的理由により就学困難な方のため、昭和五十五年の奨学生を次に募集しています。

●高校、高等、大学奨学生 ●出願資格 ▽登別市民の子弟 ▽他から奨学金を受けていない方 ▽身体強健、学術優秀、品行方正、思想健全で学資にとほしい方。

●採用予定人員 高校生八名 高専生一名、大学生四名、高専生八千円、大学生一万五千元。

●提出書類 奨学生給与願書、奨学生推せん書、家庭状況調査書、収入証明書(市町村長証明のもの)、健康診断書、成績証明書、住民票(出願本人のもの)。

●医療従事者 条件として登別市内に将来開業予定の医師または、登別市に就職予定の保健師。

●出願資格 ▽眼科医、耳鼻咽喉科医を志して大学の医学部に在学している学生および研究生 ▽保健師を志して学校に在学している学生。

●採用予定人員 医師奨学生：月額五万円、保健師奨学生：月額一万五千元。

●貸与期間 医師奨学生：十年以内、保健師奨学生：正規修業期間。

●※返還など詳しいことは、事務局に問い合わせください。

●提出書類 奨学生願書、在学学校長推せん書、健康診断書、学業成績証明書、戸籍謄本、家庭状況調査書。

●願書提出期限 三月三十一日。

●願書提出先 〒059-0103 登別市中央町六丁目十一番地 登別市教育委員会内財団法人登別育英会事務局。

●※出願についての問い合わせは、登別育英会事務局(電話5局2111内線382)に連絡ください。(現在は市役所市民相談室にあります)

豊かな自然資源を活用し 多面的な性格を備えた複合都市の建設



登別市総合基本構想 素案まとまる

八〇年代に向けて、登別市の都市づくりの方向を明らかにする「登別市総合基本構想」、および、この構想に基づいて市政推進の指針となる「登別市総合基本計画」の素案がまとまり、二月十五日に開かれた、第二回登別市総合計画審議会（上田邦男会長・委員五十人）で市側の説明を行ない、実質的な審議がスタートしました。

昭和四十七年に策定した基本構想は、昭和五十五年で終了するため、新しい時代に対応できる基本構想を策定するため、昭和五十五年を初年度とし昭和六十二年を目標年度とする八カ年計画となっています。

素案では、市の将来像を住宅・観光・工業都市に学園都市構想を加え、豊富な自然資源を活用した「複合都市」の建設を目指しています。

素案は三章から成り、第一章「総説」、第二章「主要施策の基本方針」、第三章「基本構想実現への道」となっています。

審議会は、今後三専門部会に分かれて審議を重ね、五月上旬を目途に、市に答申する予定になっています。

また、市民のみなさんに市の将来計画を理解していただくとともに、市民参加のまちづくりを進めるため、各種団体や地域などで対話集会を開き、市民総意の構想実現を図っていきます。

それでは、総合基本構想案の概要についてお知らせします。

（課題）
基本構想策定にあたり、まず、市の現実の姿を明らかにするため、各市が抱える課題を次のようにとらえています。

○住宅・観光都市の二つの構造が中心になっているが、住宅都市としては十分な整備が進んでいない、生活環境施設整備が必要である。

また、国際的観光都市を自負しているが、地域レジャー、レクリエーション施設が不足し、さらに温泉保養からレクリエーション志向の観光動向から、柔軟な対応が求められている。

登別市の将来像

素案では、登別市の将来像を「豊かな自然資源を活用し、多面的な性格を備えた複合都市」と描いています。

これは、温泉、地熱、海、山地など豊富な自然資源を見直すとともに、住宅、観光、工業に加えて「学園都市」構想の実現を目指すものです。

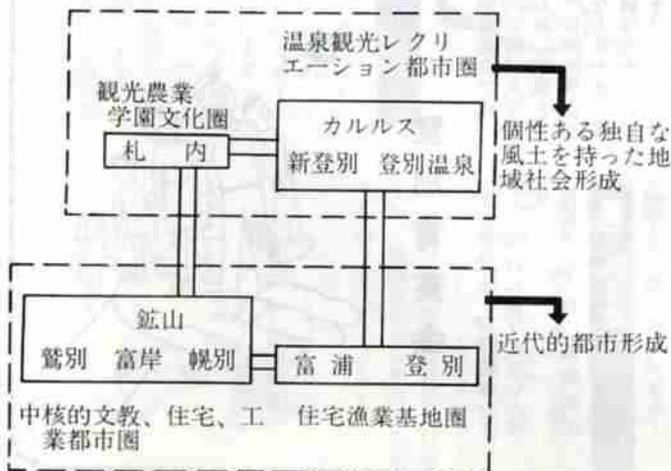
このため、四地区を次のように再編しています。

- (1) 文教、住宅、工業都市圏（鷺別・富岸・幌別地区）
- (2) 住宅、漁業基地圏（登別・富浦地区）
- (3) 観光、農業、学園都市圏（札幌地区）
- (4) 温泉観光、レクリエーション都市圏（登別温泉、新登別、カルルス地区）

○本市はまとまりのある同質的都市ではなく、地域が分散した多心都市である。
街づくりの方向性としては、各地区の多様性を伸ばしていくが、相互に有機的つながりを持ち、

ランスを保った形で、地域個性を発揮する必要がある。
このため、道路網の整備により各地区を有機的に結び、
○本市は室蘭市、苫小牧市という中堅都市にはさまれており、広域行政推進の中で、各都市の機能を利用しつつ、無駄のない都市づくりと、個性ある都市づくりを行なう。

4地区の再編による「複合都市像」



主要施策の基本方針

案案の中心となる「主要施策の基本方針」は、五大目標から成り、具体的施策の方針を挙げていますので、簡条書きに紹介します。

長期的視野にたった都市基盤づくり

- 郷別、富岸、幌別地区は、近代都市的条件を備えた文教、住宅、工業都市圏を目指す。
- 富岸地区については、国鉄の新駅開設に向けて働きかけ、優良な文教、住宅都市を形成していく。
- 幌別地区は、国道のバイパス化を実現し、駅周辺の都市的整備を図るとともに、公共施設の集積を進めて、市の行政中心地区として



基本構想は、行政のための構想ではありません。市民であるわたしたちが、住むことに喜びを感じる魅力的なふるさとを築きあげるための構想です。未来の登別市を実現させるのは、市民であるわたしたちの力なのです。

の性格を強めていく。

- 登別温泉はバイパス化などにより市街地整備を図り、また、新登別温泉については、現行の市街地と周辺の周辺も含めて、自然と調和した基盤整備を進める。
- 公共下水道は、人口中心地区を中心に着工し、順々に拡大して快適な都市生活を実現するとともに河川の汚れを防ぎ、サケののぼれる清らかな河川の回復を目指す。
- カルルス地熱開発が可能になれば、全市の規模で地域内エネルギー環境システムを確立し、独自の自立した都市を形成していく。
- 都市基盤整備にとって、道路網の整備、交通体系の整備は骨格となる。分散する地区を結ぶ連絡道路網を整備充実するとともに、北海道縦貫自動車道路の早期実現を図っていく。
- オロフレ峠の冬期開通をはじめ広域的交通網の確保を図り、地域経済の活性化を実現する。

健康で快適な住みよい生活都市JVS

- 総合公園を設け、市民の森、ダム周辺を整備するとともに子供の園を設置し、さらに幌別川沿道にサイクリングロードを設置するなどして、健康で憩いのある生活圏をつくり出す。
- 安全な生活環境を築きあげるため、交通安全施設を整備強化し、消防施設を拡充して防災面の整備を促進する。

安心して暮らせる社会福祉都市づくり

- 市民の生命財産の安全性を確保するため、警察署の設置を図る。
- 医療体制を整備し、地域医療システムを完備していく。
- 現代社会が目指す目標の一つは福祉社会の創設である。このため施設整備、制度改善に加えて、福祉意識の普及を図るため、ボランティア運動を底辺から組織していく。
- 特別養護老人ホームや老人同居公営住宅などの実現を図っていく。
- 札内地域に福祉施設の集積を進め小規模な「福祉村」を形成していく。
- 老人をはじめ、社会的に恵まれない人々のための各種制度の充実強化を図る。
- 児童館活動の強化および保育所の充実などを図っていく。

豊かな人間性を育てる教育文化都市JVS

- 次の時代を背負う人材の育成なくして、明日の登別はありえない。
- 幼稚園の全入を実現し、あわせて公私立の格差を是正していく。
- 義務教育については、人口増に対応した配置計画を行ない、施設の新、増、改築を行なう。
- また、学校の施設格差の是正を図り、教育の機会均等化、教育の質的充実を図る。
- 札内地区へ大学などの進出にともない、同地区の学園環境の整備を進める。
- さらに、学校と地元との交流を図り、地域文化の向上をもたらす。

市の発展を支える産業基盤づくり

- 富岸地区にも文教地区を整備し富岸文教地区と札内文教地区とを結んだ学園ベルトゾーンを形成し本市の特徴ある性格としての学園都市構想を強化していく。
- 社会教育は、各地区の公民館の充実および市民会館の整備を図りコミュニティ活動、文化活動の拠点づくりを目指す。
- 郷土資料館を建設し、鉱山地区を青少年のレクリエーションゾーンとしていく。
- スポーツ面では、総合公園を建設し、各種スポーツ施設の充実を図っていく。
- 文化、スポーツの専門指導者の育成を図り、各種団体の組織づくりに全力をあげ、青年、婦人の社会参加を促進していく。
- 農業 本市は、札内地区を中心とする畜産経営が主体である。今後札内地区の一部が文教地区として変容していくが、これに関連して、そ菜などの栽培を取り入れた多角的農業経営を推奨し、農業経営の安定化を目指す。
- 畜産経営の無公害事業の推進により、自然環境を保全し、健全なレクリエーションの場として提供し、登別温泉地区の観光消費流通と結びついた地域内循環システムを確立していく。
- 林業 造林事業を積極的に推進するとともに優良材の生産性向上を図っていく。
- 漁業 獲る漁業から育てる漁業への転換を図り、栽培漁業の整備を促進していく。

漁業生産の増大と経営の安定を図る。

- 商業 購買力流出に直面しているため、組織的な専門化、協業化で商店街機能を充実して、個性ある商業施設づくりに努力する。
- また、商業専用公共駐車場を建設し、商業圏の拡大を図る。
- 工業 川上、千歳地区の工業団地を早期整備し、企業の誘致を積極的に進め、工業振興を図る。
- また、流通施設の整備計画を立案していく。
- 観光 登別温泉は現況道路の整備を行なう。
- 新登別温泉にはレクリエーション施設を整備し、通年性を持ったしかも長期滞在型の観光需要を導入する。
- カルルス温泉は、温泉保養施設の整備を図る。三地区の異なる個性の統合化により、北海道観光ルートに不動の地位を確立していく。
- 本市の特徴ある性格としての学園都市構想の実現は、本市経済に好影響を与えるものと予測され、農業、漁業、商業、観光などの振興と、地域経済の活性化に寄与するものである。

基本構想 実現への道

- 「明るい地方自治で市民生活を築くために」基本計画および実施計画を策定し、事業の推進を図る。
- 行、財政の合理化、近代化を進め、広域的な行政運営を促進し、広域にまたがる大規模事業の実現を目指す。
- 市民参加の街づくりを推進するため、市民の参加を積極的に求め市民総意による構想実現を図る。

郷土史探訪

④

「色の濃い川」

ヌプルペツII

登別の川を訪ねて

登別のフンベ山南西に川口をもつ登別川(ヌプルペツ)は登別小学校前の旧国道・明治五年に開通した札幌本道にかかるとのぼり、昔のさけ・ます漁場や、登別本町二丁目の崖の出っぱりへサンケ、山奥の森林という意味のキムンタイを過ぎて上流のベトコビまでのぼります。

ベトコビは「川が互いに別れていく所」という意味で、ここで二股に別れ、左手はカルルス温泉に通じる「ベケレベツ」明るい川の千歳川、右手は登別温泉から流れる「タスリエサンベツ川」葉湯がそこを流れて出てくる川です。このクスリエサンベツは、紅葉大橋の下に深い、谷まをつくって紅葉谷(タスリエサンベツニセイ)に通じ、春先には他の場所よりも早くふきを採る事のできる日当りのよい「コルコニタウシ」や、温泉道路の右手に山の神を祭る「ポールンナイ」を通り、登別温泉街の西北をのぼってポロユ(大きい湯)の大湯沼と、ボンユ(小さい湯)といわれる地獄谷に通じています。

その位置は、ソーア(滝がそこにある谷川)と呼ばれる「勝」とにかくポロユとボンユなどを合せますと一日約八千トンにおよぶ膨大な湯が流れ出ています。登別温泉を江戸末期から「かねて名湯の由に聞き及びければ」と評し、切り傷、刺し傷、その他のけが、打身、寄生虫やその他皮膚病などが効能として、この当時から紹介されています。

一方、大湯沼、日和山の西北に流れる上流はアタナイ(われら飲む谷川)と呼ばれ、きれいな谷川の水で水源地を作り温泉の町に配水しています。

た。一方、登別温泉のペンケニ(川下の温泉)から流れてくるクスリエサンベツに比較して、二股から左手の川は、ペンケニ川上の温泉)カルルス温泉から流れてくる川でベケレベツ(明るい川)と呼ばれています。

また、このベケレベツが千歳川で、命名者は片倉家の旧家臣日野愛意の子日野久橋が明治二十二年に登別川をさかのぼり、温泉を発見した時に、祝いの意味から「千歳川」と名付けたものとして知られています。

登別川の本流である千歳川も、カルルス温泉町の中央を流れる所は、シノマンベツ(ずつと山奥に入っている川)で、さらに上流は来馬岳、オロフレ岳、加車山と馬てい型の深い山あいには源流をもつて流れ出ています。

谷まから流れ出るきれいな水と思われる上流のこの川には、不思議なことに魚がさっぱりいません。カルルス温泉に居られる郷土史研究会長日野謙一さんのお話に

よりまずと、昔、サタラマスの陸封化されたヤマベがいたのは、カルルス温泉よりずつと下流の方で魚を放流してもいつのまにかいなくなってしまう。

また、温泉から上流の川に魚がないのは、土砂に鉄・明ばん・そしてヒ素分などが含まれているからではないだろうか、と言うことでした。

さらに、大正初期から採掘しているカルルス鉱山の鉄鉱石に加えオロフレ道路の開削も大きく影響していることでしょうか。

それにしても、来馬・オロフレの源流から、札内台地に深い谷まをつくり、鯨山の口の部分に川口をもって流れている登別川は、やはりヌプルペツ・色の濃い川の特徴をもつて遠い昔から今日まで、そして今後も依然と流れていくことでしょうか。

登別市郷土文化研究会 (宮武記)



カルルス温泉橋からみた山奥へ行っている川



登別温泉から流れるクスリエサンベツ

郵便局からお願い

「現金を送るときは現金書留で」
普通郵便には現金を入れることはできません。現金を郵便で送るときは額の多少にかかわらず、必ず現金書留にしてください。

現金封筒は、郵便局や郵便切手販売所などで発売しており、これには通信文などを同封することができます。

「転居届けは郵便局にも」
転居される時は、郵便局にも転居届けをお出しください。

転居届けの用紙は郵便局のほか市役所窓口にも備えてありますが、普通のはがきに旧住所、新住所、ご家族の名前、転居年月日を書いて、最寄りのポストへ投かんしていただいても結構です。

「表札の訪問販売について」
最近、「〇〇郵便業務協力会」などの名称を使い、表札の訪問販売をしているケースがありますが、このような会などと郵便局は全く関係なく、表札の訪問販売はしていません。

また、郵便外務員の制服に類似した服装をして「郵便局に依頼されている」「家族表札がなければ配達しない」「規則が変わって表札の提出が義務化された」など、その内容があたかも郵政者が行なっているかのような話法で、しかもなかば強制的に販売しているケースもあります。

表札は郵便配達上必要なので、ぜひ提出していただくようPRしていますが、表札がないからといって配達しないということはありません。

このような訪問販売には、充分ご注意ください。



「附子」から（野村万之介、野村万作（右側））

笑いの古典芸能「狂言」

室町時代から伝わる日本の伝統喜劇——「狂言」の公演が、2月20日中央公民館で行なわれました。公演には野村万之丞、万作（ともに重要無形文化財指定者）、万之介兄弟をはじめ、野村狂言の会（和泉流）の協力を得て開かれました。

この日は、小・中学校の生徒をはじめ、愛好家や一般市民など約400人がつめかけました。

開演に先立ち、狂言の登場人物や所作の約束ごとの説明があったあと、「柿山伏」と「附子（ぶす）」の二提が上演されました。

写真は、「附子」の一場面で、大切な砂糖を「附子（毒薬の名前）」だとウソをついた主人が、留守の間に召使いに砂糖をなめられ、言い訳に掛け軸や茶わんまで壊されるという皮肉な結末に、会場から笑いが起こり、普段では見ることができない、狂言の楽しさをたんのうしていました。

国民年金の特例納付は

年金権がよみがえる

6月30日までです

六十五歳になって老齢年金を受けるためには、保険料を納めた期間が二十五年以上あることが必要です。

また、保険料の免除を受けたことのある人は、免除期間と納めた期間の合計が二十五年以上あればよいことになっています。

また、国民年金に当然加入しなければならぬのに加入の手続きをとっていなかった人も、特例納付することができます。

特例納付として納める保険料は未納期間一か月につき四千円で

- ▽償還方法 据置期間六カ月以内 償還期間三年以内
- ▽利率 年三パーセント
- ▽申し込み期限 五月十日
- ※詳しいことは、社会福祉協議会にお問い合わせてください。

ところで、保険料を納め忘れていて二年たつと時効になり、それ以後はその分の保険料は納められなくなりません。

このような未納期間が多くなり、将来、納付期間の合計が二十五年に満たず、老齢年金を受けられなくなる場合があります。

そこで、このような人をなくすため、時効で納められなくなっている過去の期間の保険料を、特例を認めて納付できるようにしたのが「特例納付制度」です。

この特例納付制度を利用できるのは、現在国民年金に加入しているか、これまでに加入したことのある人で、過去に当然加入の期間があり、その期間について保険料を納めていない場合に限られます。

特例納付の取扱期間は今年六月三十日までです。

保険料を納め忘れたり加入し忘れていた方は、この機会をお見逃しなきように。

なるべくお早めに市役所国民年金係（電話5局2111内線245）で手続きをしてください。

特例納付のための資金貸付制度

低所得世帯や身体障害者世帯を対象に、特例納付をするための資金貸付制度があります。

窓口は、社会福祉協議会（市役所一階 電話5局2111内線336）で、内容は次のとおりです。

▽貸付額 一人あたり二十五万円以内で、特例納付額の二分の一以内の額。

▽償還方法 据置期間六カ月以内 償還期間三年以内

▽利率 年三パーセント

▽申し込み期限 五月十日

※詳しいことは、社会福祉協議会にお問い合わせてください。

学校めぐり⑪

全員参加で多彩な行事

札内小中学校



市内唯一の複式学校——札内小学校は、明治三十三年に幌別小学校の札内簡易教育所として開設されました。

その後、人口の減少で一時期廃校になりましたが、昭和十五年に札内尋常小学校として再び開校、中学校の併置などを経て現在に致っています。

同校は、小学生二十三人、中学生七人の合計三十人の児童、生徒に対し先生八人とい



カルルス小学校との集合学習の模様。(昨年8月23日、札内小中学校体育館)

小学一年生から中学三年生という縦のつながりは、お互いの立場を理解し、協力し合って生活する校風をつくりあげています。

また、マンツーマンに近い授業は、一人一人に目が届くとともに個々の才能を伸ばすことにも重点が置かれ、普通の学校とはひと味も、ふた味も違うものがあふれています。

こうした反面、中学生にとって「小学生に順応してしまおう」「集団生活に対する、競争心や力強さに欠ける」といった点の指摘があることも事実です。

このため、同校の学校運営ではあらゆる機会をとらえて刺激を与え、校外に目を向けた活動に積極的に取り組んでいます。

たとえば、書道では段、級を目指した活動、読書感想文をはじめ火災予防作文、交通安全絵画コンクールなどにすすんで作品を応募しています。

スポーツの面では、昨年の市内小学生体育大会に、三年生以上でチームを編成し、男子は野球、女子はバレーボールに初めて出場しました。

大規模校との善戦は、各学校からの温かい声援を受け、大きな自信を持つことができました。

また、カルルス小学校との定期的な交流は、子供たちの楽しみの一つになっています。

学校のわくわくしはられないこうした運営は、「やればできる」といった可能性の再発見とともに、明るく、活発な児童、生徒の育成に効果をあげています。

札内台地のほぼ中心という恵まれた自然環境を生かし、理科の時間には、地域の教材化を図っています。

ダイコンパエによる被害が目立つてきた昨年の秋、中学生七人を中心に被害状況や生態調べを行なった「ダイコンパエの生活史」と題して、その対策などを学芸会で披露、父兄の関心を集めました。

同じく理科の時間で行なった、「札内台地の地質構造」のスケッチは、札幌大学の研究資料として活用されることになり、地域と密着したこれらの活動は高く評価されています。

同校の特色ある学校行事として低学年も参加するオロフレ登山、カルルスまで往復するサイクリング、地域と一体となった運動会があります。

なかでも、例年良い天気が続く五月下旬に行なわれる運動会は、子供、大人、親の種目に分けて趣向をこらし、父母をはじめ地域の人の参加は大会のふんい気を盛りあげ、地域的な行事として定着しています。

このように、学校と地域の結びつきは深く、さらに、大学などの設置にともない、児童、生徒数の増加も見込まれています。

優良運転の該当者を 受け付けています

登録交通安全協会では、昭和五十五年度の優良運転者を表彰するため、次のとおり対象者を受け付けています。

▽資格 登録交通安全協会の会員で、次の条件に該当する方。

○無事故無違反の期間が、引き続き五年になる運転者（五年表彰）

○同じく十年になる運転者（十年表彰）

※ いずれも昭和五十五年三月一日現在。

▽受け付け先

○警別・富岸地区に居住の方
大岩昌生（6局7045）

○梶別地区に居住の方
岩間義三（5局2320）

○中谷繁一（5局2254）

○富浦・登別地区に居住の方
常盤幸男（3局1333）

○登別温泉・カルルス地区に居住の方

斎藤忠夫（4局3111）

▽締切り 四月十日まで

※不明な点は、市役所内の交通安全協会事務局（5局2111）内線241へご照会ください。

切れていませんか 電気メーターの 有効期限

計量法では、一般家庭、貸ビルアパートなどで使用されている電気メーターは、検定済みのものでなければ使用できないことになっています。

また、メーターの検定有効期間は七年間と定められており、期間が過ぎたもの、あるいは検査を受けていないメーターの使用は禁止されています。

▽申し込み窓口 市役所・各支所

▽実施期日 四月一日から（二年間）

▽予約受付 三月一日から
▽保険料（掛け金） ひとりにつき三百六十円（一年分）、中途申し込みは、月割三十円

▽加入回数 一人二回まで
昭和四十三年から実施して二十二年になりますが、これまで交通事故などで、この傷害保険の適用を受けた方は二百十一人、支払われた保険金は、千二百九十一万

加入しましょう

家族ぐるみで

市民交通傷害保険

九千円にものぼっています。万が一の場合を考えて、被災者の保護対策として実施しています。市民交通傷害保険に家族ぐるみで加入しましょう。

さて、このようなメーターを使用している人は、早急に電気工事業者にご相談ください。取替工事などの費用は、およそ三千円くらいです。詳しいことは、市商工振興係（電話5局2111）内線256にお問い合わせください。

昭和54年分

所得税の申告と納税はお済みですか



確定申告

確定申告の期限は3月15日です

- ▽会費 一カ月 五百円
- ▽入会金 二百円
- ▽入会申し込み先 新岡（電話5局3359）、警井（電話5局6243）

「七宝焼き」

実習会

市教育委員会では、七宝焼き講習会を次のとおり開催します。

▽定員 になり次第締め切りますので、早めに申し込みください。

▽日時 三月十五日、三月二十二日（二回に分けて実施） いずれも午後一時から四時まで

▽場所 中央公民館

▽定員 いずれも三十名

▽実習料 無料（材料費負担已）

▽申し込み・問い合わせ先 市教育委員会社会教育課（電話5局2111）内線350

子ども劇場に 入会しませんか

室蘭子ども劇場観劇ブロッコでは、会員を募集しています。この会は、児童劇・人形劇・音楽映画などの鑑賞を通して、子どもたちの健全な育成をはかることを目的としています。

三カ月に一回例会（催し物）を開いており、三月の例会・入会申し込み先は次のとおりです。

◎三月例会 ポニージャックス
「走れ夕方の超特急」

▽日時 三月十五日（土）午後三時開演

▽場所 室蘭市文化センター

▽前売券 二千円（ペア券三千七百円）

※会員は会費だけで見られます。

学校給食に ご意見を

登別市生活学校では、つぎのとおり「学校給食に関する対話集会」を行います。

お母さん方のご意見を、お聞かせください。

▽日時 三月五日 午前十時～午後二時（受付は午前九時から）

▽場所 中央公民館

▽参加費 一人 二百円

※昼食を用意いたします。

しいたけ栽培 講習会

家庭でのしいたけ栽培熱が年々

不用品タイヤ市

5局2111

内線257

おわけします（売り）
ダブルベッド、ゆりかご、

婦人用自転車、車用補助イス、加湿器、ポット式石油ストーブ、あみ機、スピードスケート（23・25cm）、ホッケー用具一式（大人用）、スピードスケート（19cm）、ハイフスケート（19cm）、ガス台、

コーヒーマーカー

ゆずってください（買い）
エレクターン、電気オルガン、ミキサー、工業用ミシン、ファイアースケート（20・22cm）、スキー靴（20・21cm）、すべり台、家庭用和文タイプライター、小型英文タイプライター

高まっています。市では、正しい栽培の知識と管理方法を知っていただくため、次により「しいたけ栽培講習会」を開催します。多数ご参加ください。

○日時 三月十日（日）午後一時三十分から

○場所 中央公民館二階ホール（市役所裏）

○受講料 無料

○用意する物 筆記用具
※詳しくは、農林水産課へお尋ねください。（電話5局2111）内線260